

日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第9期（決算日2024年5月20日）

作成対象期間（2023年5月23日～2024年5月20日）

第9期末（2024年5月20日）

基準価額	22,977円
純資産総額	1,416百万円
第9期	
騰落率	44.6%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド」は、2024年5月20日に第9期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<654442>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

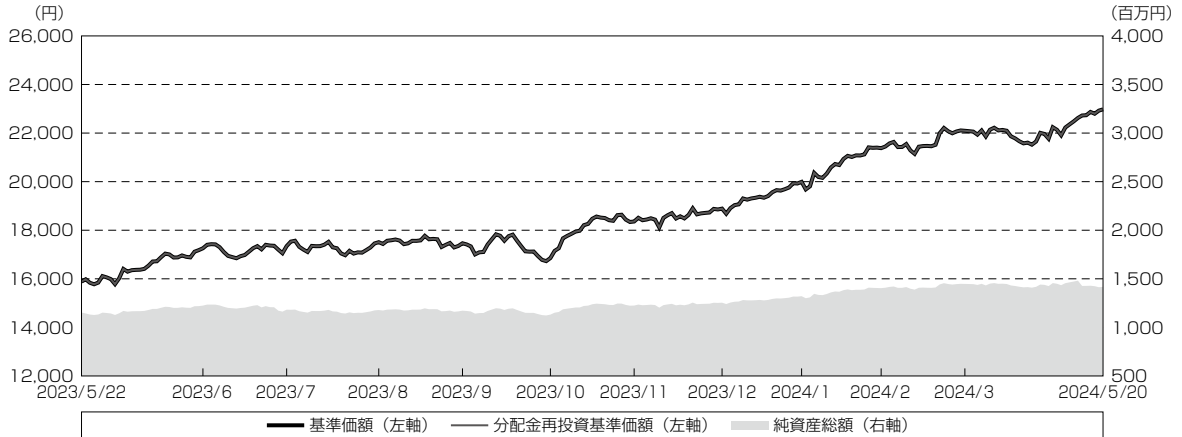
お知らせ

当ファンドは、2025年5月20日に信託期間が終了し、償還を迎える予定です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年5月23日～2024年5月20日)



期首：15,886円
 期末：22,977円 (既払分配金(税込み)：0円)
 騰落率：44.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年5月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・公表された欧米企業の決算が予想を上回るものであったこと。
- ・アメリカドルに対して円安が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・欧米主要諸国でのインフレ率の高止まりが、市場および各国中央銀行の予想以上に長引いていること。
- ・ロシアのウクライナ侵攻が依然として継続する中、足元でイランやイスラエルなどの中東諸国で、地政学的リスクが高まっていること。

1 万口当たりの費用明細

(2023年5月23日～2024年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 325	% 1.728	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(158)	(0.842)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(154)	(0.820)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供などの対価
(受託会社)	(12)	(0.066)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.024	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.023)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.006)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	50	0.269	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(30)	(0.159)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(18)	(0.095)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
(その他)	(2)	(0.010)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	380	2.027	
期中の平均基準価額は、18,780円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

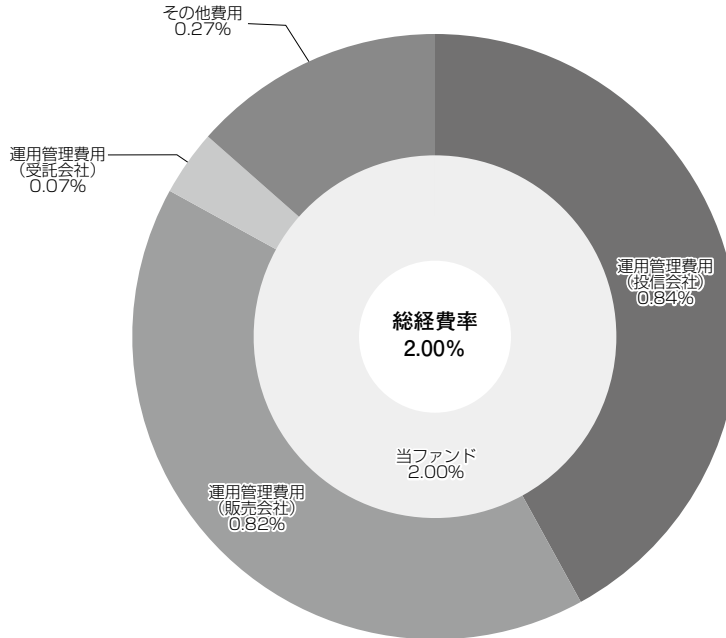
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

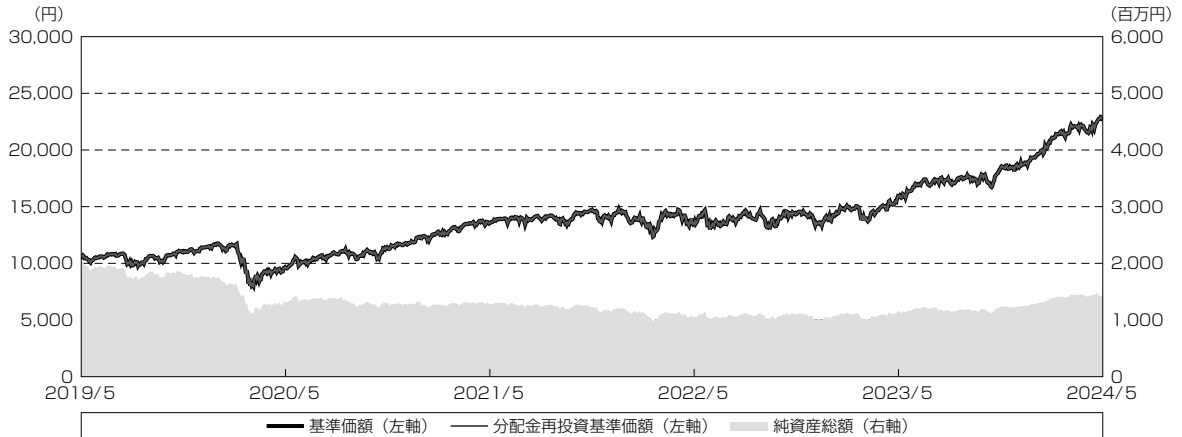
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年5月20日～2024年5月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年5月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年5月20日 決算日	2020年5月20日 決算日	2021年5月20日 決算日	2022年5月20日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月20日 決算日
基準価額 (円)	10,685	9,567	13,511	13,420	15,886	22,977
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△10.5	41.2	△0.7	18.4	44.6
純資産総額 (百万円)	2,020	1,313	1,280	1,041	1,152	1,416

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2023年5月23日～2024年5月20日)

(株式市況)

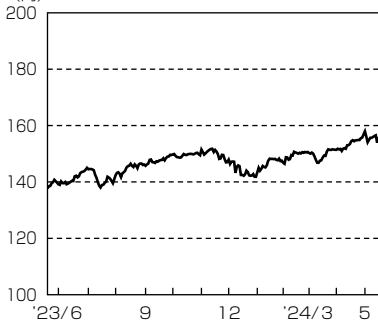
世界的な金利上昇傾向から株式市場が軟調に推移する場面があったものの、期間を通じて見ると先進国株式市場は好調に推移しました。

期間の初め、金融機関破綻連鎖の懸念の後退やインフレ懸念がある程度後退する中、比較的好調な2023年4－6月期の決算結果を受けて上昇しました。2023年8月初旬は、大手格付会社による米国国債の格下げなどを受けて株式市場は下落しました。9月以降は米国長期金利が目立って上昇し、また10月は中東情勢の緊迫化を受けた地政学的リスクの高まりから下落しました。11月に入り、米国では債券利回りが落ち着きを見せる中、ハイテク株やグロース株が買われたことで、株式市場は切り返す展開となりました。その後も欧州の利上げ局面終了との見方や、米国連邦準備制度理事会（FRB）の2024年の利下げの示唆などを受けて上昇しました。そして、中国の景気後退への不透明感や、米国の早期利下げに対する期待の後退が米国長期金利を押し上げたことなどが重しとなる局面もあったものの、米国経済が軟着陸するのではとの見方が広まったことや、公表された欧米企業の決算が予想を上回るものであったこと、人工知能（AI）の活用の広がりからAI関連の大手ハイテク企業などへの業績期待が高まり、株式市場は引き続き上昇しました。最近では地政学的リスクの高まりなどが圧力となっているものの、米国経済やAI関連企業の業績底上げへの期待感などから、上昇基調は継続しています。

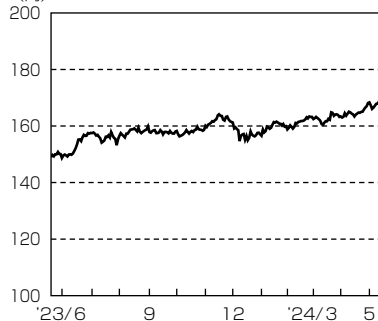
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

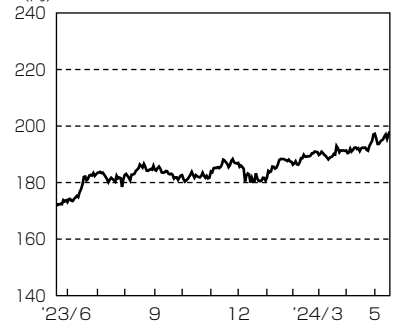
円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／イギリスポンドの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2023年5月23日～2024年5月20日)

(当ファンド)

当ファンドは、「世界株式アクティブマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(世界株式アクティブマザーファンド)

世界に広がる投資テーマを絞り込んだうえで、企業調査・分析により、3～5年で目覚ましい投資成果につながると見込まれる銘柄の発掘に努めました。魅力的な投資機会を追求するため国や地域は限定せず、個別企業の事業や競争環境などを分析・評価しました。

ポートフォリオでは、市場環境やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を慎重に検討した結果、資本財セクターの銘柄に積極姿勢で臨んだほか、ヘルスケアセクターや金融セクターにおいて、活発な銘柄入替を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年5月23日～2024年5月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2023年5月23日～2024年5月20日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期
	2023年5月23日 ～2024年5月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,208

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「世界株式アクティブマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(世界株式アクティブマザーファンド)

今年は金利の動向が世界経済に影響を与えていると考えています。また米国政府の債務水準と家計の貯蓄水準を考慮すると、世界経済は順風満帆とはいかない可能性も考えられます。

一方で、2024年第1四半期の企業決算は、概してポジティブな傾向にありました。また株価評価（バリュエーション）は前月比で見ると概ね安定的に推移していますが、これは業績と国内総生産（GDP）（米国、中国）の成長見通しの改善に支えられているとみられます。このような勢いが続けば、米国と比べて低バリュエーションにある米国以外の市場にも好影響を与えると考えます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

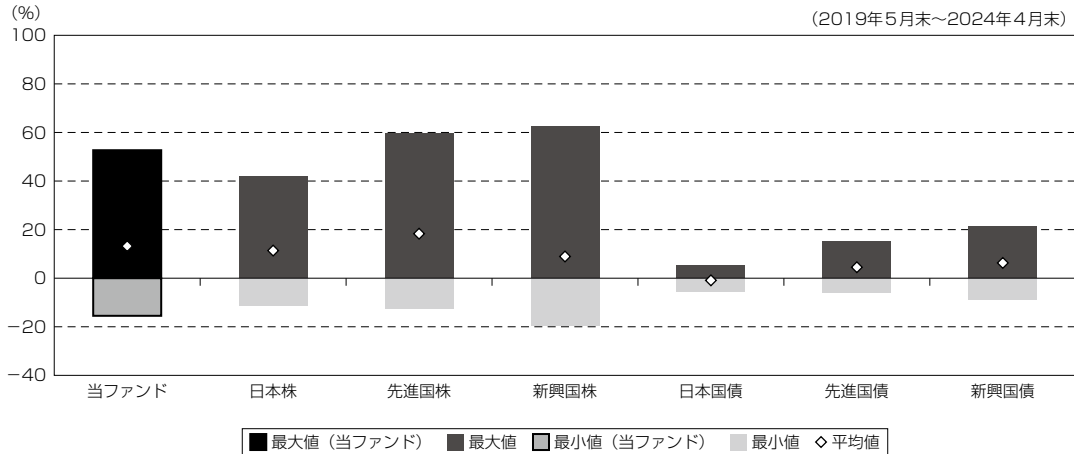
2023年5月23日から2024年5月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2015年6月23日から2025年5月20日までです。	
運用方針	主として、「世界株式アクティブマザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興ロックフェラー・グローバル・エクイティ・ファンド	「世界株式アクティブマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界株式アクティブマザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や各銘柄毎の成長性、収益性、流動性等を勘案して行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.7	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△15.5	△11.4	△12.4	△19.4	△5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	13.2	11.4	18.3	8.9	△0.9	4.5	6.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年5月20日現在)

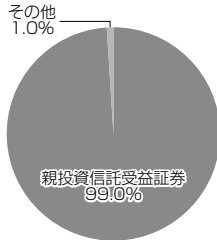
○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
世界株式アクティブマザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

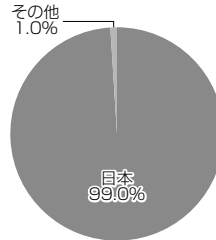
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

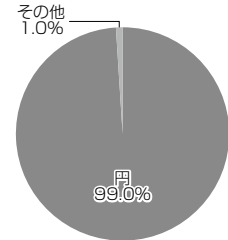
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第9期末
	2024年5月20日
純資産総額	1,416,661,855円
受益権総口数	616,545,754口
1万口当たり基準価額	22,977円

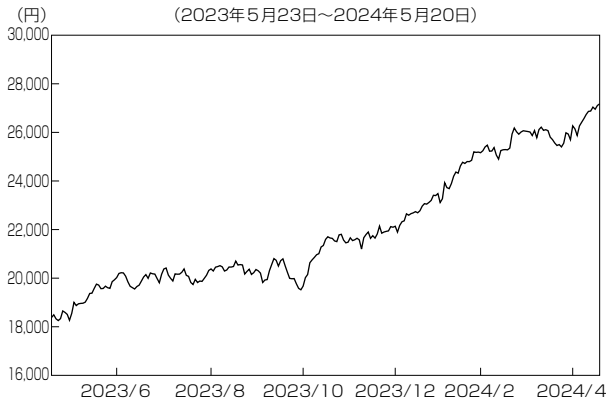
(注) 期中における追加設定元本額は1,142,299円、同解約元本額は110,321,520円です。

組入上位ファンドの概要

世界株式アクティブマザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年5月23日～2024年5月20日)



【1万円当たりの費用明細】

(2023年5月23日～2024年5月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株投資信託証券)	5 (5)	0.024 (0.024)
(b) 有価証券取引税 (株投資信託証券)	1 (1)	0.006 (0.006)
(c) その他費用 (保管の費用)	37 (35)	0.171 (0.161)
(その他)	(2)	(0.010)
合計	43	0.201

期中の平均基準価額は、21,973円です。

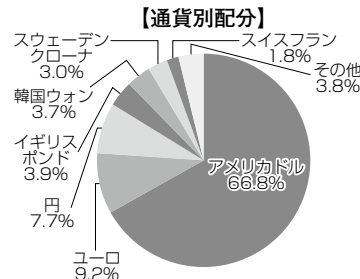
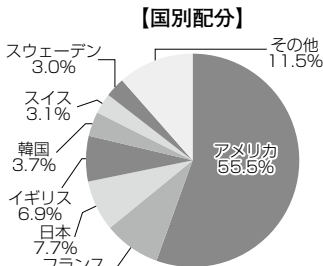
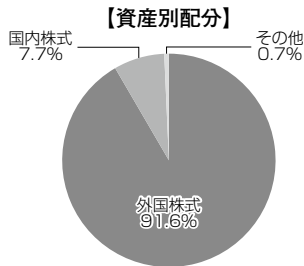
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年5月20日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	5.4%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	4.8%
3	REINSURANCE GROUP OF AMERICA	保険	アメリカドル	アメリカ	4.5%
4	DISCOVER FINANCIAL SERVICES	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	3.3%
5	SHELL PLC-ADR	エネルギー	アメリカドル	イギリス	2.9%
6	ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	2.9%
7	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカドル	アメリカ	2.8%
8	SCHNEIDER ELECTRIC SE	資本財	ユーロ	フランス	2.2%
9	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	2.1%
10	日立製作所	電気機器	円	日本	2.1%
組入銘柄数			61銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。